

謝辞

本論文を完成するのにあたり、多くの方々にご協力をいただきました。

まず、学部から大学院にわたり、懇切丁寧にご指導なされた吉田妙子先生に厚くお礼を申し上げたいと思います。先生の助言のおかげで論文を無事に完成させることができ、論文の内容のみならず、精神的な面にもいろいろと励ましの言葉をいただきました。そのほかに、論文の相談に伺うとき、先生がお作りになったおいしい料理もよくいただいて、本当に何から何まで先生のお世話になって、感謝の限りです。

そして、まだ日本語学科に入っておらず、日本語を学び始めたばかりの頃から蘇文郎先生の授業を受け、基礎を学び、学部の三年生から大学院まで言語学の面白さを教わりました。長年のご教授に対して、感謝の意を表したいと思います。

中間発表と論文審査で、王淑琴先生と劉怡伶先生からご指摘をいただき、自分で気づけなかったところが多々あり、先行研究の重要さがわかり、論文と研究のあり方を前よりもっとつかめることができた気がして、ここでお礼を申し上げます。

2009年の夏、参考文献と論文資料を探すために、日本へ渡りました。当時に旅費として奨学金を提供してくださった真如苑仏教会にも感謝しております。

また、参考文献を提供してくださり、相談に乗ってくださった横山先輩、姜先輩、研究に熱意を持っていつも語ってくれる葉先輩、論文審査についていろいろアドバイスを下さった黄先輩や、テーマを探すときと論文を書くのに際して自分の経験をいろいろ教えてくださった王先輩、陳先輩など、多くの先輩たちにお礼を申し上げ、事務的な面でいろいろとお世話になった頼さんに感謝を表したいと思います。

そして、悩んでいた私の側にいてくれた友人にもお礼を言いたいです。

最後に、温かく見守って、経済的に支えてくださった両親、いつも暖かい励ましの言葉をくれた姉や弟、論文のコピーや製本を手伝ってくれた従兄弟の志嘉君にも感謝の気持ちを伝えたいです。

この論文は、このように多くの方々のご協力の元で、完成しました。皆様のご協力をなくしては完成できなかったと思います。そのため、未熟ながら、この論文を皆様に捧げたいと思います。ありがとうございました。

2010年7月

范佩佩